

## 授業概要

科目名	日常生活活動学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	1単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年後期
<b>【授業の目的・ねらい】</b> ADLの概念、構成、について学び、ADLの重要性を理解する。 ADLの代表的な評価法について学び、概要を理解する。								
<b>【実務者経験】</b> 作業療法士として回復期リハビリテーション病棟で3年間勤務し、その後訪問リハビリテーションを経験。身体機能障害、精神障害領域における作業療法に従事経験。								
<b>【授業全体の内容の概要】</b> ADLの概念、構成について学ぶ。ADLの基本的な評価法を学ぶ。								
<b>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</b> ADLの概念、構成について説明することが出来る。ADLの基本的な評価法を説明することができる。								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	ADL概論 (ADL/IADL概要と構成)						教科書	
2	個々のADLの概要と方法を学ぶ						教科書	
3	ADLの評価の目的と代表的な評価法の概要と方法を学ぶ						教科書	
4	ADLの代表的な評価法の概要と方法を学ぶ						教科書	
5	ADLの代表的な評価法の概要と方法を学ぶ						教科書	
6	事例を通して代表的な評価方法を学ぶ						教科書	
7	事例を通して代表的な評価方法を学ぶ						教科書	
8	まとめ						教科書	
	定期筆記試験							
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> PT・OTビジュアルテキストADL 柴喜崇・下田信明編 羊土社 実践リハビリテーションシリーズ 脳卒中の機能評価－SIASとFIM(基礎編) 千野直一・椿原彰夫他著 金原出版								
<b>【準備学習・時間外学習】</b> 学習した範囲の見直しを行う。								
<b>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】</b> 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期筆記試験を100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。								